

平成 25 年度 茨木市教育センター主催
教育センターフォーラム 実施要項
 パイロット的研究の実践報告～「先生」だから、できることがあります。～

先進的研究の実践、今日的教育課題の調査分析の報告をとおして、児童生徒の知徳体バランスのとれた学力向上につなげるべく知見を広め、今後の学校教育の充実に役立てる。

1. 日 時 平成 26 年 2 月 7 日 (金) 15 : 30～17 : 00
 (受付 15 : 00～)

2. 会 場 茨木市市民総合センター
 (クリエイトセンター)
 〒567-0888 大阪府茨木市駅前町四丁目 6 番 16 号
 3 階 セミナー 301A (前方) セミナー 301B (後方)
 302号室 303号室



JR 茨木駅または阪急茨木市駅から、いずれも徒歩 10 分です。

3. 対 象 幼・小・中学校教職員、府内教育関係者、茨木市民

4. 発 表 者 情報教育所員 5 名・情報教育協議員 1 名・言語教育所員 3 名・支援教育所員 5 名
 理科教育所員 2 名・調査研究所員 1 名・不登校児童生徒支援室 1 名
 ICT サポーター 1 名

5. 申 込 電話またはメールにて、氏名・住所・電話番号を明記のうえお申込みください。
 TEL 072-626-4407 メール forum@educ.city.ibaraki.osaka.jp
 申込期間 1 月 6 日 (月)～1 月 31 日 (金)

教育センターフォーラム(平成26年2月7日)分科会発表一覧および発表順

順	ジャンル 時間	第1分科会(セミナー301A)	第2分科会(セミナー301B)	第3分科会(302)	第4分科会(303)
		①評価活動の充実をベースにした小中連携 ～英語力向上をめざして～ ②不登校児童生徒への支援	③ICT機器を活用した各校の実践例 ④情報スキルの向上	③ICT機器を活用した各校の実践例 ⑤思考力を刺激する理科の仕掛けづくり	⑥通常学級における支援と 通級指導教室の実践 ⑦アンケートから見える各年代の違い
1	3:40	① 子どもたちのつながりをいかに 外国語活動 小学校 言語教育所員	④ ICTサポーターがお届けする 2つのレシピ ICTサポーター	③ 「こんな使い方が！」-書画 カメラを使った授業づくり- 小学校 情報教育所員	⑦ 各年代における意識の違いと 研修に対するニーズの調査 調査・研究所員
2	3:55	① 多文化学習を通して コミュニケーション力を 育てるには 小学校 言語教育所員	③ 校内におけるICT活用促進と 学校年間カリキュラムについて 小学校 情報教育所員	③ 児童の実態に合わせた 年間カリキュラムとは -西小の実践発表- 小学校 情報教育所員 情報教育協議員	⑥ ユニバーサルデザインの 授業づくりと障がい理解教育 小学校 支援教育所員
	4:10	<休憩>	<休憩>	<休憩>	<休憩>
3	4:20	① 低学年でもできる！生きている 英語 授業実践 小学校 言語教育所員	③ 電子黒板やホワイトボードを 使った生徒の発信授業 中学校 情報教育所員	⑤ 育てよう！「考えるカラス」 小学校 理科教育所員	⑥ 中学校での支援を考えた 授業づくり 中学校 支援教育所員
4	4:35	② どうする？不登校アセスメントと 「ふれあいルーム」の活動 教育センター不登校児童生徒支援室	③ プロジェクターの活用度向上と eライブラリの学習における役割 について 中学校 情報教育所員	⑤ 一授業一実物のすすめ 小学校 理科教育所員	⑥ 通級指導教室での取り組みと 授業実践 小・中学校 支援教育所員

6、内 容

※各発表ごとに会場移動は可能ですが、発表中の入退室については十分ご注意ください。

※各発表の概要については、別添の「教育センターフォーラム 発表テーマ及び概要」をご覧ください。

連絡先

〒567-0888

大阪府茨木市駅前町四丁目 6 番 16 号

茨木市教育委員会 学校教育部 教育センター

担当：指導主事 田中賢一郎

TEL 072-626-4407

FAX 072-626-4510

E-mail:ken_tanaka@educ.city.ibaraki.osaka.jp